次世代に事実（教訓）をどう伝えるのか

熊本学園大学
水俣学研究センター
２０２３年度
第２０期 公開講座

10/3～31

毎週火曜日
午後６時半～８時半
対面会場 エコネットみなまた
（熊本県水俣市南福寺60）
＊対面とオンラインのハイブリッド開催です

今年は、水俣病第一次訴訟判決から50年を迎えました。水俣病被害者の補償、救済問題は解決したとは言えません。水俣病の教訓を学ぼうとしても、被害当事者が高齢化し、話を聞くことも難しくなってきました。同様のことが、戦争被害や他の公害被害でも、当事者が高齢化し、起こったことの真相をどのように語り継いでいくのかが、課題になっています。

沖縄や広島、長崎では、高校生などが施設を案内する取り組み、若い語り部の養成が進められてきています。

また、関東大震災や満蒙開拓団などの経験、忘れ去られた事実を掘り起こし、事件を語り継ぐ取り組みも行われています。こうした取り組みの経験を学び、あらためて、水俣病の教訓をどう語り継いでいくのか、考えていきたいと思います。

受講はすべて無料です。全講義受講者には修了証を発行します

後援
水俣市社会福祉協議会

10/3 森山英治
熊本県人権教育研究協議会 顧問
「『来民開拓団の真相』に学びながら、『開拓慰霊祭のこころ』を受け継ぐ子どもたち～部落差別の現実に学び、反差別のなかまづくりへ～」

10/10 川本愛一郎
有限会社リハシップ あい 代表取締役
／水俣市立水俣病資料館 語り部
「人間の尊厳を取り戻す闘い
ー水俣病事件 父からの伝言ー」

10/17 林田光弘
長崎大学 RECNA特任研究員
「次世代に長崎の被爆体験をどう伝えるのか」

10/24 金（キム） 秀煥（スファン）
ウトロ平和祈念館 副館長
「『ウトロで生きる ウトロで出会う』
～差別と歴史問題を乗り越えた力～」

10/31 金（キム） 翼漢（イッカン）
韓国・明知大学 名誉教授
（株）文化製作所可能性 代表理事
「セウオル号事件の記憶」

お申し込みは

【対面参加】水俣学現地研究センターへ
開館時間 火～金 10:00-16:00
TEL 0966-63-5030／FAX 0966-83-8883
e-mail m-genchi@kumagaku.ac.jp

【オンライン参加】水俣学研究センターwebサイトの申し込みフォームから
https://forms.gle/nNhesHCQAiVsoG8S6